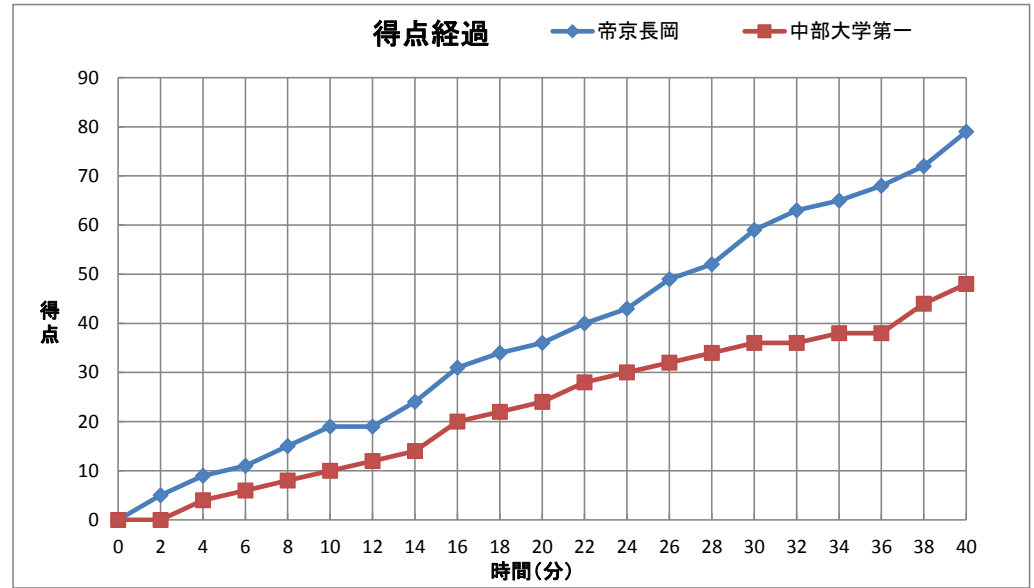




平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会  
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子		平成27年7月31日		10:00 開始									
3回戦		ハンナリーズアリーナ		B									
◎ 帝京長岡 (新潟県)		79		48 中部大学第一 (愛知県)									
		( 19 1st 10 17 2nd 14 23 3rd 12 20 4th 12 )											
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	頓所 幹康	9	0	4	1	0	* 4	遠藤 和希	13	1	5	0	4
5	笠井 航	0	0	0	0	0	5	早川 雄大	2	0	1	0	0
6	大嶋 拓実	4	0	2	0	0	* 6	中村 浩陸	2	0	1	0	3
* 7	DIABATE TAHIROU	16	0	7	2	3	* 7	広沢 龍星	7	1	2	0	0
* 8	高橋 陸	26	6	4	0	1	* 8	ザン 歌	6	0	1	4	4
* 9	神田 大輔	7	1	2	0	1	9	加納 祐治	2	0	1	0	0
10	矢代 賢人	2	0	1	0	0	10	大川 翔	0	0	0	0	0
* 11	遠藤 健斗	6	0	3	0	3	11	上澤 俊喜	-	-	-	-	-
12	池田 大雅	5	1	1	0	0	12	小川 元暉	12	0	6	0	0
13	祝 俊成	0	0	0	0	0	* 13	ディクソン ジュニア タリキ	0	0	0	0	0
14	刘 子澍	2	0	1	0	1	14	坂本 聖芽	0	0	0	0	0
15	川崎 竣平	2	0	1	0	0	15	王 ウエイ嘉	4	0	2	0	3
コーチ	柴田 勲					0	コーチ	常田 健					0
Aコーチ	早川 永幸						Aコーチ	西村 彩					
合計		79	8	26	3	9	合計		48	2	19	4	14
主審: 飯尾 勝紀													
副審: 久保 知仁													



CTO	1・2P	3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	11:20	:	:	:	:	:	:
TeamB	12:30	:	25:27 33:47	:	:	:	:

〔戦評〕  
 インターハイ3回戦、新潟県代表の帝京長岡と愛知県代表の中部大一の試合。  
 第1P、両チームともハーフコートマンツーマンで試合開始。第1Pの出だしターンオーバーが目立つ中部大一是、リズムを作ることができずなかなか得点することができない。一方、帝京長岡は#7のゴール下シュートで先制すると#4、#8のドライブインでテンポよく得点していく。相手の高さに苦しむ中部大一是インサイドプレイでのシュートがなかなか決まらず苦しい展開が続く、#4のドライブインや#12のジャンプシュートで得点するも単発で終わり流れをつかめない。19対10の帝京長岡リードで第1P終了。  
 第2P、中部大一#6の闘志あふれるドライブインで相手のファウルを誘い一気に流れを引き寄せる。しかし、すかさずタイムアウトをとった帝京長岡は相手の流れを断ち切ると#8のドライブイン、3Pで連続得点する。たまたまタイムアウトをとった中部大一是ディフェンスを2-3ゾーンに変更し、徐々にディフェンスから流れを引き寄せていく。中部大一#4がピックをもらい、巧みなドリブルさばきでドライブインすると#7の3P、#12のジャンプシュートが気持ちよく決まり一気に点差を一桁まで縮める。相手のゾーンディフェンスに苦しむ帝京長岡はインサイドでの得点が止まる。しかし#8の3Pと#11のジャンプシュートが勝負どころで決まり、流れを引き渡さずに36対24で第2P終了。  
 第3P、中部大一#8がインサイドで奮闘する。体を張ったプレイで相手のファウルを誘い必死に食らいつく。しかし、オフェンスリバウンドが取れずにセカンドチャンスが作れない。一方帝京長岡はリバウンドをきっちり取ってチャンスを増やしていくと#8の2連続3P、#7のポストプレイで点差を広げていき、終了間際に#4が体を張った速攻を決めると応援大歓声のなか第3P終了。  
 第4P、帝京長岡は#9の3P、#10のスクープシュートと勢いが止まらない。中部大一是#15のポストプレイで得点するもオフェンスリバウンド、ディフェンスリバウンドときっちり抑えた帝京長岡が中部大一到反撃のチャンスを与えず79対48で勝利した。

戦評: 川端 真広      記録: 京都すばる高校